

## 【中学生の部】 未来賞

### 「持続可能な社会を目指して」 ～未来をまもるために私ができること～

九州文化学園中学校 2年 黒田 美也くろだ みや

私はだいやエコクラブのリーダーを務めています。女子が明るく楽しく元気に活動する家族と親戚で結成したこどもエコクラブです。環境活動をたくさんの人に啓発するための取り組みとして「こどもツーリズム・エコ株式会社」を設立しました。メンバーが「社員」となり、SDGsをスローガンに掲げ、17の項目を達成するためのSDGsツアーやエコ主総会の企画運営・ツアーガイドを行う会社のような団体です。この会社は「エコ主」を募集します。エコ主になる条件は、アルミ缶古本古着などの不用品を持参、リサイクル活動やフリーマーケット、環境啓発活動、公園市道海岸での清掃活動に参加をする事です。

私の住む佐世保市は、令和2年6月24日に線状降水帯の影響により1時間に120ml以上の6月観測史上最大の記録的大雨を観測し、土砂崩れや道路の冠水などの災害に見舞われました。必然的に佐世保市民の気候変動へ危機感が高まっていました。私は地球温暖化を食い止めなければ人類がこの地球で生きていくことが困難になってしまうと未来に不安や恐怖を感じました。環境省は以前から警鐘を鳴らしていました。気候変動適応法には「これからの地球は温暖化の影響による気候変動で大雨の頻度が増え、さらに今後、長期にわたり拡大するおそれがある」と記してあります。気候変動が「気候危機」として現実になってきたのです。私の町だけではありません。日本各地、いや世界中で大雨の甚大な被害が発生したのです。私が肌で感じた恐怖とテレビのリアルタイムな各地の被害を目の当たりにした危機感から、私は「地球温暖化防止をテーマにしたツアーをすぐに開催しなければいけない」と思い社員たちに相談しました。そして、社員と佐世保市地球温暖化防止活動推進員のサポーターと協力し、令和2年7月26日「こどもツーリズム・エコ会社～みんな大好きえぼしだけ！COOL CHOICEを学び、自然を体験するSDGsツアー～」を開催しました。COOL CHOICEとは、地球温暖化対策に資する「賢い選択」をしていこうという国民運動です。そして、SDGsの13番目の項目「気候変動に具体的な対策を」に該当します。今回のSDGsツアーでは、社員が司会を務めて地球温暖化防止のための学習会を行いました。長崎県地域環境課が作成した「我が家の省エネ日記」で地球温暖化について学び、エコ主に自宅で2週間の地球温暖化防止の取り組みを実践してもらいました。私たちが考えエコ主に啓発をしたい強い気持ちで作成したCOOL CHOICEクイズでは、正解者へエコグッズやサステナブルファームで収穫した野菜のプレゼントを用意し、嬉しく楽しい啓発に努めることができました。そして、サポーターの講話後にはCOOL CHOICEに賛同してもらいました。さまざまなプログラムを行いました。コロナ禍での開催のため3密を避け、社員はペットボトルを再利用した手作りのフェイスシールドの着用、エコ主の発言は控えて放置竹林の竹で作製した〇×プレートを意思表示アイテムとしました。

そして、検温、手指消毒、ソーシャルディスタンスを守るなどの感染予防対策を徹底しました。体験学習は講師の方の指導の元、ピザ釜で手作りピザを作りました。まきは間伐材や廃材を利用しカーボンオフセットを説明、具材は県産品を使用、フードマイレージを減少させCO2の削減になることを学びCOOL CHOICEを实践、地球温暖化防止を実行しました。今後もSDGsをスローガンとした、小さな団体だからこそできるSDGsツアーを企画し、こども視点を大切に地球温暖化防止活動に取り組んでいきたいです。今回のSDGsツアーを通し、エコ主一人ひとりの地球温暖化防止への意識を高めることができたので、私は達成感を感じました。

現在、世界はコロナ禍です。混沌とした世の中で、感動した出来事がありました。緊急事態宣言で外出自粛になった際、自宅の窓から夜空を見上げました。そこには、市街地にもかかわらず信じられないほど美しい星空を見ることができました。私は体の奥底から感動が湧き上がりました。美しい星空は、国民一人ひとりの力が集結した結果だったのでしょうか。みんなの力が集まれば市街地でも美しい夜空を復活させることができます。私は国民の結束力には無限の力が秘められていると思いを強くし、未来の美しく豊かな地球を想像しました。そして、国民全員のを合わせればどんな困難にも立ち向かえると希望を持ったのです。私一人では小さな力です。しかし、小さな力が集まれば大きな力になります。大きな力になれば、未来に生きるすべての生物が豊かで幸せに生きる「持続可能な世界」が実現できると信じて、私たちの明るい未来をまもるためにこれからも活動を継続します。